

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--------|--------------------------------|----------|------------------|--------|-----|--------|---------|
| 37101 | レクリエーション論 Recreation Theory | 秦真人・伊藤照美 | | 専門 | 2 | 選択 | 1・2前期 |

科目の概要

少子高齢社会の日本社会においてレクリエーション・インストラクター（以下「レク・インストラクター」）はレクリエーションの「市民サービス事業」を推進する人材として期待されている。（DP⑤）
 21世紀の社会とレクリエーション運動の役割、レクリエーション支援とその展開方法を基礎理論の中心におきながら、インストラクターとして必要なコミュニケーション技能について考察し講義及び演習を行う。（DP②）
 この授業をとおして社会に出てから活用できるレクリエーション支援の技術を身につけるとともに、社会人基礎力を養う。（DP③④）
 学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。（DP④⑤）

| 学修内容 | 到達目標 |
|--|--|
| ① レクリエーションの基礎・意義を学ぶ。 ② レクリエーションのライフスタイルとレクリエーションの関連を学ぶ。 ③ レクリエーションインストラクターの役割を学ぶ。 ④ レクリエーションの企画方法を学ぶ。 ⑤ レクリエーションの援助方法を身につける。 | ① レクリエーションの基礎・意義を理解し、説明できる。（DP①） ② レクリエーションのライフスタイルとレクリエーションの関連について理解し、実施することができる。（DP②） ③ レクリエーションインストラクターの役割を理解し、説明できる。（DP③） ④ レクリエーションの企画を立てることができる。（DP④⑤） ⑤ レクリエーション支援の展開ができる。（DP④） |

| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 |
|---------------------|---------------------------|
|---------------------|---------------------------|

| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | |
|---------------------|---------------------------|---|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | レクリエーションについて、自ら学修する事が何かを見極め、自発的に取り組むことができる。 |
| | 働きかけ力 | |
| | 実行力 | 次回の授業内容について、事前に予習・復習をし、学修計画を立てることができる。 |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 授業で出された課題や問題を分析し、目標を達成できる。 |
| | 計画力 | |
| | 創造力 | 授業で学修したことや自らの知識を活用して、アイデアを出すことができる。 |
| チームで働く力 | 発信力 | 内容の確認や質問などを行いながら、相手の意見を正確に理解できる。 |
| | 傾聴力 | グループ活動において、周りの意見に耳を傾け、相手の意見が理解できる。 |
| | 柔軟性 | |
| | 状況把握力 | |
| | 規律性 | 遅刻・無断欠席など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 |
| | ストレスコントロール力 | |

テキスト及び参考文献

テキスト：日本レクリエーション協会編著『楽しさをおした心の元気づくり』2017年。
 ～レクリエーション支援の理論と方法～（日本レクリエーション協会発行 本体1,800円）を使用する。
 参考文献：必要に応じて適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：レクリエーション実技の授業を履修すること。
 資格との関連：レクリエーション・インストラクター 保育士資格 幼稚園教諭二種

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。 予習ではテキストをよく読んで内容を整理してほしい。 欠席はしないこと。 授業を欠席したら、欠席分の課題をレポートにまとめ提出すること（必須）。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業中の私語は慎み、積極的に授業に参加すること。 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。 レク財を知るために、インターネットやメディア情報など、積極的に情報収集する意欲を持ってほしい。 |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | | |
|-----------------------|--------------|-------|------|--|---|---|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 0 | ① | | | | |
| | | | ② | | | | |
| | | | ③ | | | | |
| | | | ④ | | | | |
| | | | ⑤ | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | 0 | ① | | | |
| | | | | ② | | | |
| | | | | ③ | | | |
| | | | | ④ | | | |
| | | | | ⑤ | | | |
| | | レポート | 40 | ① | | ✓ | ① レクリエーションの意義について、説明できる。(20点) ② レクリエーション・インストラクターの役割について、説明できる。(20点) ※ 期限までにきちんと提出する |
| | | | | ② | | | |
| | | | | ③ | | ✓ | |
| | | | | ④ | | | |
| | | | | ⑤ | | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | 50 | ① | | ・授業内容について、しっかりと実践されているか評価する ・参加者が安全で楽しめるレクリエーションを発表する。 ・レクリエーション・インストラクターとしての論理性・明瞭さを評価する。 | | | |
| | | ② | ✓ | | | | |
| | | ③ | | | | | |
| | | ④ | ✓ | | | | |
| | | ⑤ | ✓ | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | (主体性) 積極的に授業へ参加することができる。 (実行力) 事前学習に学習した課題を発表できる。 (課題発見力) 課題や問題を分析し、自分の立てた目的や目標が達成できる。 (創造力) 授業で学習した事を応用して、アイデアを出し、課題に取り組むことができる。 (発信力) 内容の確認や質問などを行いながら相手の意見を理解し、積極的に発言できる。 (傾聴力) 周りの意見を聞き、理解できる。 (規律性) 学習意欲欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォロレポート課題を行う。 | | |
| | | | ② | ✓ | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | ④ | ✓ | | | |
| | | | ⑤ | ✓ | | | |
| 総合評価割合 | | 100 | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションの基礎・意義が理解できる。 ・レクリエーションのライフスタイルとレクリエーションの関連について理解できる。 ・レクリエーションインストラクターの役割について理解できる。 ・レクリエーションの企画・指導ができる。 ・レクの支援ができる。 ・グループ発表において協力し、意見を出し合い全員で議論し、レポートをまとめ聞く側に分かりやすく工夫された発表ができる。 ・総合評価90以上はS(秀)、89~80はA(優)とする・レクリエーションの基礎・意義が理解できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションのライフスタイルとレクリエーションの関連について理解できる。 ・レクリエーションインストラクターの役割について理解できる。 ・総合評価79~70はB(良)、69~60はC(可)とする |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|--|---|---|-------|--|
| 1 | オリエンテーション シラバスの確認 授業の目標と内容の確認をする (演習) アイスブレイキングを体験する (秦・伊藤照) | 講義・演習 授業の内容についての説明 | シラバスを理解ができている。 アイスブレイキングの意味が理解できる。 | 予習：シラバスを読むこと。 復習：アイスブレイキングの意義をまとめる。 | 180 | 主体性 創造力 傾聴力 規律性 |
| 2 | レクリエーションの意義と運動・活動について学ぶ (秦) | 講義 演習 レクリエーションの意義と運動・活動について学ぶ | レクリエーションの意義が理解できる レクリエーション運動・活動を支える制度が理解できる。 | 予習：「はじめに」「レクリエーションを学ぶにあたって」(テキストP4～8)を読む 復習：レクリエーション運動・生活を支える制度をまとめる。 | 180 | 主体性 創造力 傾聴力 規律性 |
| 3 | ・レクリエーション支援について学ぶ(講義) (1)心の元気づくりの大切さ (2)活動の楽しさとコミュニケーション能力を用いた支援 ・コミュニケーションワーク(演習) (秦) | 講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック | ・健康について、説明できる。 ・コミュニケーションについて、説明できる | 予習：第1章「レクリエーション概論」のI「レクリエーション支援とは」(テキストP9～14)を読む 復習：「健康」及びコミュニケーションについて、まとめる | 180 | 主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 4 | レクリエーション・インストラクターの役割を学ぶ (1)福祉や教育分野などの現場で心の元気づくりを支える。 (2)地域で集結してレクリエーション事業に参画する (秦) | 講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック | レクリエーション・インストラクターの役割が理解できる。 | 予習：第1章IIの「レクリエーション・インストラクターの2つの役割」(テキスト：p15～17)を読む 復習：レクリエーション・インストラクターの役割をまとめる(レポート) | 180 | 主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 5 | レクリエーション理論を学ぶ① (1)楽しさをとおした心の元気づくりの理解 (秦) | 講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック | レクリエーション活動の楽しさが理解できる。 | 予習：第2章第1節I「楽しさをとおした心の元気づくりの理解」(テキストp20～28)を読む 復習：レクリエーション活動の楽しさをまとめる。 | 180 | 主体性 創造力 傾聴力 規律性 |
| 6 | レクリエーション理論を学ぶ② (1)ライフステージと心の元気づくり (2)子どもや高齢者の心の元気づくり (3)障がいのある人の元気づくりの課題 (秦) | 講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック | レクリエーションの対象者(子ども・高齢者・障がい者)について、理解できる | 予習：第2章第1節II「ライフステージと心の健康づくり」、III「子どもや高齢者の心の元気づくり」、IV「障がいのある人の心の元気づくりの課題」(テキストP29～32)を読む 復習：レクリエーション対象者について、まとめる。 | 180 | 主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 7 | レクリエーション理論を学ぶ③ (1)地域のきずなづくり (2)子どもを育む地域のきずな (3)高齢者を支える地域のきずな (4)きずなづくりとレクリエーション (秦・伊藤照) | 講義 特別講師を招いての講義とグループワーク。 「特別講師：愛知県レクリエーション協会」 | レクリエーションの対象者と地域のきずなについて、理解できる。 | 予習：第2章第2節「心の元気と地域のきずな」(テキストP33～36)を読む 復習：レクリエーションの対象者と地域のきずなについて、まとめる。 | 180 | 主体性 課題発見力 発信力 規律性 |
| 8 | レクリエーション理論を学ぶ④ (1)レクリエーション支援におけるコミュニケーション (2)対象者との信頼関係 (3)信頼関係づくりの方法 (秦・伊藤照) | 特別講師を招いての講義とグループワーク。 特別講師：愛知県レクリエーション協会 演習 | ①レクリエーション支援におけるコミュニケーションが理解できる。 ②信頼関係について、理解できる。 | 予習：第3章第1節「コミュニケーションと信頼関係の理論」(テキストP38～43)を読む 復習：レクリエーション支援におけるコミュニケーション及び信頼関係について、まとめる。 | 180 | 主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|---|--|---------------------------------|---|-------|---|
| 9 | レクリエーション理論を学ぶ⑤ (1) 集団づくりの理解 (2) レクリエーション活動をおとした良好な集団づくり (3) 集団内のコミュニケーションの促進 (伊藤照) | 講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック | レクリエーションにおける集団づくりについて、理解できる。 | 予習：第3章第2節「良好な集団づくりの理論」(テキストP44～49)を読む 復習：レクリエーションにおける集団づくりについて、まとめる。 | 180 | 主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 10 | レクリエーション理論を学ぶ⑥ (1) 自主的、主体的にレクリエーション活動を楽しむ力 (2) やる気の変化とやる気が生じる心の仕組み (3) 成功体験を支える対象者のかかわり (伊藤照) | 講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック | 自主的、主体的に楽しむ力を育む理論が理解できる。 | 予習：第3章第3節「自主的、主体的に楽しむ力を育む理論」(テキストP50～55)を読む 復習：自主的、主体的に楽しむ力を育む理論が理解できる | 180 | 主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 11 | レクリエーション方法を学ぶ① (1) 信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ (伊藤照) | 講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック | 信頼関係づくりの方法・ホスピタリティについて、理解できる | 予習：第4章第1節「信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ」(テキストP58～65)を読む 復習：信頼関係づくりの方法・ホスピタリティについて、まとめる | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 12 | レクリエーション方法を学ぶ② (1) 良好な集団づくりの方法・アイスブレーキング (伊藤照) | 演習形式の講義 パソコンを使用しレクリエーションの集団あそびを調べて考える | 良好な集団づくりの方法・アイスブレーキングについて、まとめる。 | 予習：第4章第2節「良好な集団づくりの方法・アイスブレーキング」(テキストP66～69)を読む 復習：良好な集団づくりの方法・アイスブレーキングについて、まとめる | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 13 | レクリエーション方法を学ぶ④ (1) レクリエーション活動の企画を立てる。 (秦・伊藤照) | 演習形式の講義 パソコンを使用しレクリエーションの集団あそびを調べまとめる | レクリエーション活動の企画作成の留意点が理解できる。 | 予習：第4章第3節「自主的・主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開法」(テキストP70～82)を読む 復習：レクリエーション活動の企画作成の留意点をまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 14 | レクリエーション方法を学ぶ⑤ (2) レクリエーション活動の企画を実施する (秦・伊藤照) | 演習形式の講義 ITC活用として学生によるビデオ撮影と音響 | レクリエーション活動の実施の留意点が理解できる。 | 復習：レクリエーション活動の実施の留意点について、まとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 15 | オンデマンド 14回目の授業を視聴し振り返りをまとめる | オンデマンド 14回目の授業をフィードバックする。 | レクリエーション活動の評価の留意点について、理解する。 | レクリエーション活動の評価の留意点について、まとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力